

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域のつきあい 地域密着型サービスの意味をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自治会長民生委員に協力を要請し、近隣の幼稚園や小学校との交流を図り地域とのつながりを強化する	地域で行っている災害訓練や清掃活動に参加し近隣の方との交流を図る。 近隣の幼稚園や小学校など参加できる行事で交流を図る。	6ヶ月
2	4 (3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会、老人会、民生委員など地域の組織からの代表者の参加を確保する。また議題の工夫や家族などの参加者を増やす。	日ごろから交流を図り、その中で興味のあるような議題を模索する。運営推進会議の後で食事会を開催するなど参加意欲が出るよう工夫する。	6ヶ月
3	49 (18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の社会資源の活用などで外出の機会を増やす。	認知症カフェなどに出かけ、外の方との交流を図る。 「次はどこに行きたい」など意欲を持って生き生きと生活できるように支援する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。